

政策 01 安全・安心に関する政策

施策 05 交通環境の充実

あるべき姿

安心で利便性の高い交通環境が整備され、交通事故が減少しています。

施策の成果状況と評価

指標	1,000人あたりの交通事故件数(件)	基準値 (H27)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R03)	対 基準値
		【自治振興課】	2.96	2.97	2.36	2.60
評価	(状況) 1,000人あたりの人身交通事故件数は、基準値(2.96件)と比較して、0.6件減少しました。交通事故の対象は、高齢者が多く、状態別は、自動車、自転車の順に多くなっています。					☀ (向上)
	(要因) 啓発活動等により前年と比較し人身事故件数が大幅に減少(73件減少)したことが挙げられます。					☀ (向上)
						目 標 達成度 ☀ (達成)

指標	市内の移動手段に不便を感じている市民の割合(%)	基準値 (H27)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R03)	対 基準値
		【自治振興課】	3.50	3.80	3.2	3.14
評価	(状況) 市内の移動手段に不便を感じている市民の割合は、基準値(3.50%)と比較して、0.3ポイント低下しました。					☀ (向上)
	(要因) コミュニティバスの新運行開始や、ひなちゃんタクシーの運行など、市内公共交通が充実し、市民の移動手段の選択肢が広がったことが挙げられます。					☀ (向上)
						目 標 達成度 ☀ (高)

# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 交通安全対策の推進

指標	ルール違反による事故件数（件）	基準値 (H27)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R03)	対基準値
	【自治振興課】	353	353	280	311	☀️ (向上)
評価	<p>(状況) 人身事故件数は、基準値(353件)と比較して、73件の大幅な減少となりました。</p> <p>(要因) 各地域での交通安全教室や交通安全啓発活動、交通事故防止運動など、効果的な啓発活動を実施したことが挙げられます。</p>					対前年度 ☀️ (向上) 目標達成度 🏰 (達成)

## 基本事業01 交通安全対策の推進

指標	幹線道路の歩道整備率（％）	基準値 (H27)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R03)	対基準値
	【道路課】	33.4	34.2	34.7	37.8	☀️ (向上)
評価	<p>(状況) 幹線道路の歩道整備率は、基準値(33.4%)と比較して、1.3ポイント向上しました。</p> <p>(要因) 市道A-1001号線、A-1004号線、A-2021号線を整備したことが挙げられます。</p>					対前年度 ☁️ (横ばい) 目標達成度 ■ (中)

## 基本事業01 交通安全対策の推進

指標	カーブミラー、ガードレール等の交通安全施設の新設・修繕の対応率（％）	基準値 (H27)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R03)	対基準値
	【道路課】	70.4	94.3	82.8	79.8	☀️ (向上)
評価	<p>(状況) カーブミラー等の新設・修繕対応率は、基準値(70.4%)と比較して、12.4ポイント向上しました。</p> <p>(要因) 設置基準を明確化するとともに、特にカーブミラーの角度調整・修繕に関しては、安全確保のため迅速に対応したことが挙げられます。</p>					対前年度 ☔️ (低下) 目標達成度 🏰 (達成)

## 基本事業01 交通安全対策の推進

指標	交通ルールを守っている市民の割合（％）	基準値 (H27)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R03)	対基準値
	【自治振興課】	82.2	83.0	85.7	93.1	☀️ (向上)
評価	<p>(状況) 交通ルールを守っている市民の割合は、基準値(82.2%)と比較して、3.5ポイント向上しました。</p> <p>(要因) 成果向上の理由として、交通安全運動週間中におけるキャンペーン等の地道な啓発活動により、市民一人ひとりの交通安全意識が少しずつ向上したためと考えられます。</p>					対前年度 ☀️ (向上) 目標達成度 ■ (中)

**基本事業02 持続性のある生活交通の確保と利用促進**

指標	バスの利便性に関する満足度（％）	基準値 (H27)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R03)	対 基準値
		【自治振興課】	57.1	54.7	62.6	64.7
評価	<p>(状況) バスの利便性に関する満足度は、基準値(57.1%)と比較して、5.5ポイント向上しました。</p> <p>(要因) コミュニティバスの見直しによる新運行が開始されたことに伴い、利用者のニーズに沿った運行となったことが挙げられます。</p>					対 前年度
		☀ (向上)	目 標 達 成 度	■ (高)		

**基本事業02 持続性のある生活交通の確保と利用促進**

指標	コミュニティバスの年間利用者数（人）	基準値 (H27)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R03)	対 基準値
		【自治振興課】	522,753	538,032	489,879	604,070
評価	<p>(状況) コミュニティバスの年間利用者数は、基準値(522,753人)と比較して、32,874人減少しています。</p> <p>(要因) 令和元年度から効率的な運行とするため、新運行を開始したことに伴い、一部コースの変更や日曜祝日ダイヤの設定、年末年始の運休等の影響が挙げられます。</p>					対 前年度
		☂ (低下)	目 標 達 成 度	■ (低)		